

甲南医療センター

内科

指導担当医（役職）

清水 宏紀（教育研修センター長）

実習概要

概要

循環器内科、消化器内科、糖尿病総合内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍血液内科の中から1つの科を4週間実習していただきます。指導医の下、主治医団の一員となり病棟患者、救急患者の治療に参加します。実習は午前8：30から午後5：15となりますが緊急入院があれば一緒に診察、治療に参加することもあります。当院は救急患者、重症患者も多く可能な範囲内で手技を学んでいただきます。

医療面接

毎日患者さんベッドサイドに行き、訴えを聴取し状態の把握に努めていただきます。新入院の患者さんに対しては現病歴、既往歴、家族歴などの聴取を行い、診断に結びつけるよう指導します。また患者、家族に対するインフォームドコンセントの場にも同席し、上級医の医療面接を学んでいただきます。

身体診察

毎日患者さんのベッドサイドに行き、理学的所見を取りWordに記載してください。

カルテ記載

- (1) ～ (6) についてWordに毎日記載してください。
 - (1) S(Subjective)自覚症状（本人の訴え、自覚症状）
 - (2) O(Objective)他覚的所見(身体所見、検査所見)
 - (3) A(Assessment)評価（主治医の考える病態、診断名、重症度や治療の緊急度の判断）
 - (4) P(Plan)計画（検査や治療方針、コンサルトの予定、指示）

- (5) 上記(1)~(4)以外に、実施した治療、手術・処置、検査等と、検査結果、結果に対する評価等
- (6) コンサルテーションをした場合やカンファレンス、指導医の回診時のコメント、指示事項等

症例プレゼンテーション

週に一度程度、受け持ち患者さんのプレゼンテーションをしていただきます。日々、患者さんに接する中で診断、治療を考えてください。プレゼンのための実習ではなく実習の成果を発表してください。

学生へのメッセージ

様々な疾患を持った患者さんが入院しています。学生の皆さんとは年齢が離れた患者さんがほとんどです。服装、言葉使いには注意し患者さんと接してください。当院は多くの指導医が在籍しています。座学ではなく実践力を磨くよう切磋琢磨して下さい。